

会計名			担当部				建設部					
一般会計			担当課				道路建設課					
款	項	目	担当係				事業推進係					
8	2	3	市道01-3号線他道路新設改良事業									
PLAN	事業概要	総合計画					分野	都市環境				
		施策体系					基本施策	道路・交通				
							施策の内容	道路の整備				
	目的	東境町と西境町を結ぶ地区の主要道路に歩道を設置することで、歩行者の安全性を確保する。 また、東境地区においては、排水路の断面不足を解消するための整備を同時に行う。	主たる内容	道路新設改良 東境町 延長 L=890m 東境区間 延長 L=500m 幅員 W=11.9m 車道幅員 6.0m 歩道幅員 2.5m 水路幅 2.8m（歩道重複） 西境区間 延長 L=390m 幅員 W=8.5m 車道幅員 6.0m 歩道幅員 2.5m 橋梁拡幅 1箇所								
V	計画	位置づけ	関連計画									
			根拠法令	道路法								
			対象者	道路利用者	事業期間	平成20年度～平成28年度						
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
BDO	実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画				
		道路詳細設計	1式	(H24繰越分)		用地取得面積	115㎡	(H26繰越分)				
		用地測量	1式	橋梁工事	1箇所			用地取得面積	54㎡			
		用地取得面積	140㎡	道路新設改良	68m			(H27契約分)				
		橋梁工事	1箇所	(H25契約分)				用地取得面積	124㎡			
				用地取得面積	186㎡			道路新設改良	120m			
				道路新設改良	65m							
		成果	平成26年度までに道路用地の面積割合で全体の約84%が取得できた。									
		課題										
		V	実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度				
活動指標	道路用地の面積取得率（%）			56.4	70.6	83.8	100.0	—				
成果指標	道路整備率（%）			63.1	69.7	70.8	86.5	100				
C	事業コスト	他市との比較検証										
		単位：千円	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳					
		事業費①	35,497	79,015	4,635	49,879	合計	4,634,629円				
		財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,400円			
			一般財源	35,497	79,015	4,635	49,879	委託料	1,301,388円			
		職員人件費②	8,630	6,102	5,420	9,283	公有財産購入費	3,328,702円				
		総事業費（①+②）	44,127	85,117	10,055	59,162	負担金、補助及び交付金	3,139円				
		建設事業	全体事業費（単位：千円）	505,352		26年度特定財源名称						
26年度までの累積事業費	394,367											
28年度以降の事業費見込	61,106											

会計名			市道01-3号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	道路利用者の利便性・安全性の向上の確保のため、道路の拡幅と歩道の設置を行う事業であるため必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	道路と水路の事業を同時に実施することによる費用対効果は高く、効率性に優れている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路、水路整備は公共性が高いため、積極的に市が主体となり整備することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	年度ごとに区間を定め、利便性の向上を図ることができているため、市民サービスへの貢献度は高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も現計画の通り用地取得、整備を進め、事業の推進を図る。					

会計名 一般会計			市道01-4号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第1係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	既存の歩道及び車線を拡幅整備することで、南北地域間を結ぶ交通の円滑化及び児童を始めとする歩行者の安全性を確保する。	主たる内容	道路新設改良 今川町ほか 延長 L=2,240m 幅員 W=13.5m(片側歩道 W=2.5m)					
	位置づけ	関連計画		第3次刈谷市都市計画マスタープラン					
			根拠法令	道路法					
		対象者	道路利用者	事業期間	平成11年度～平成34年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		交通安全対策 1式		道路新設改良 162m		(H25繰越分) 道路新設改良 162m (H26契約分) 道路新設改良 170m		道路新設改良 180m 橋りょう予備設計 1式 道路詳細設計 1式	
成果		道路新設改良工事を実施し、道路整備率の進捗を図ることができた。							
課題		発杭川の河川改修計画に関連する区間について、施工方法や実施時期など河川管理者と事業調整する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
成果指標	道路整備率（%）		24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
指標			75.9	71.3	83.3	87.3	92.7		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,187	21,864	50,385	61,250	合計	50,385,160 円	
	財源	特定財源	0	4,400	16,500	8,200	工事請負費	50,385,160 円	
		一般財源	1,187	17,464	33,885	53,050			
	職員人件費 ②		495	2,946	4,857	6,662			
	総事業費（①+②）		1,682	24,810	55,242	67,912			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		3,149,344		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		2,526,125		社会資本整備総合交付金(国)					
28年度以降の事業費見込		561,969							

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	当該路線は国道1号線と連絡する利便性の良い路線であり、交通量が多い上に大型車の混入率が高い。また一部区間は通学路として利用されている。しかし、車線幅員や歩道幅員が狭く、交差点で慢性的な交通渋滞が発生しているため、交通の安全と円滑化を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	社会資本整備総合交付金を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	ゆとりある暮らしを支える生活基盤として、道路の拡幅整備や交差点改良を行うことで、生活利便性や企業の産業活動を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路の整備は、県道岡崎豊明線との交差点改良、及びバイパス区間は道路の拡幅が完了しており、交差点の渋滞緩和と旧道沿線地区の良好な住環境の形成（騒音や交通安全確保）に一定の効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
国道1号との交差点改良は、警察協議を含めて改良計画案を作成する必要がある。また、地元道路利用者の利便性を低下させない整備とする必要がある。					

会計名		市道01-40号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計						担当課	道路建設課		
款	項					目	担当係	道路整備第1係	
8	2					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	バイパス機能をもった幹線道路を整備することで、南北地域間における交通の円滑化を促す。	主たる内容	道路新設改良 中手町ほか 延長 L=1,600m 幅員 W=12.0~15.5m					
	位置づけ	関連計画		第3次刈谷市都市計画マスタープラン					
			根拠法令	道路法					
		対象者	道路利用者	事業期間	平成11年度 ~ 平成38年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		用地取得面積 2,552㎡ 河川協議		用地取得面積 4,539㎡ 調査設計業務委託 1式 (計画区域の土質調査) 橋梁設計業務 1式		用地取得面積 2,021㎡ 道路詳細設計 1式 (取付市道)		(H26繰越分) 用地取得面積 548㎡ (H27契約分) 用地取得面積 1,636㎡ 道路橋りょう詳細設計 1式 用地測量 1式	
成果		平成26年度までに、道路用地の面積割合で全体の約81%が取得できた。道路用地取得対象地の権利者との交渉により、事業に一定の理解を得て、用地交渉を始めることができた。中手神明社の用地取得に向け、関係者より道路計画に関して概ねの了承が得られた。河川管理者と道路計画に関して事前協議を行った。							
課題		神社用地の取得について、神社庁と調整が必要。河川管理者と占用区域について、調整が必要。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（%）			55.1	72.8	80.9	91.5	95.3
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		83,907	158,807	82,061	73,160	合計	82,060,631 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	35,400 円	
		一般財源	83,907	158,807	82,061	73,160	委託料	14,451,218 円	
	職員人件費 ②		17,614	17,674	12,249	15,646	公有財産購入費	56,195,584 円	
	総事業費（①+②）		101,521	176,481	94,310	88,806	負担金、補助及び交付金	745,429 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		5,675,871		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		1,539,560							
28年度以降の事業費見込		4,063,151							
						補償、補填及び賠償金	10,633,000 円		

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市街地における交通渋滞が慢性化していることから、南北地区間の移動に時間を要している。また通過車両が生活道路に流入し、生活道路の交通安全の確保が危惧される状況であるため、これらの対策を講じる必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	長期的な展望から、（仮）南北縦貫道路の一部区間の整備を行い、将来的な道路網を形成するため、本路線を都市計画決定し、広く市民からの理解を得て事業を推進する。また、社会資本整備総合交付金を活用して道路整備を進める。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	バイパス機能を持つ道路整備を行うことで、交通の円滑化や市街地内の渋滞が緩和され、地域間の交流が活発になる。また市民の身近な道路の安全性が確保されることで、良好な住環境が提供できる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路整備により、既存の幹線道路の混雑緩和と生活利便性の向上が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も計画通り用地取得を進め、事業の推進を図る。					

会計名			市道1-227号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	岩ヶ池公園の駐車場整備に伴う信号設置に合わせ、右折帯設置を行い、交通の安全を確保する。	主たる内容	道路新設改良 東境町 延長 L=160m 幅員 W=13.0~15.75m (歩道W=3.0mは公園敷地、一部道路)						
	位置づけ	関連計画		刈谷レストラーレ基本構想						
		根拠法令	道路法							
		対象者	道路利用者	事業期間	平成24年度 ~ 平成29年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		用地取得面積	95㎡	公安協議	用地取得面積	67㎡	(H26繰越分) 用地取得面積	67㎡		
成果		1名2筆の用地取得契約をすることができた。								
課題		用地取得に難航している。								
指標		指標名称（単位）			実績値			目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
成果指標	道路用地の面積取得率（%）			20.3	20.3	34.5	34.5	100		
指標										
	他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,918	0	3,756	0	合計	3,755,630 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	5,200 円		
		一般財源	3,918	0	3,756	0	委託料	160,974 円		
	職員人件費 ②		4,386	0	2,957	898	公有財産購入費	3,589,456 円		
	総事業費（①+②）		8,304	0	6,713	898				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		135,286		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		69,477								
28年度以降の事業費見込		65,809								

会計名			市道1-227号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	年間800万人を超える利用者がある刈谷ハイウェイオアシスの需要に対応する事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	岩ヶ池公園整備事業との整合を図り、一体的に整備することで効率的かつ効果的な事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	レクリエーション拠点としての機能の充実が位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	休日の慢性的な渋滞や混雑を緩和し、利用者の安全及び周辺交通環境に寄与する事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
用地取得に難航しているが、引き続き早期事業完了に向け用地交渉を継続していく。					

会計名 一般会計			市道2-402号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	事業推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	市役所北側の地区で刈谷名店街ビルの土地利用が計画されること、また、県道知立東浦線の電線類地中化事業の進捗等から地域の交通安全及び渋滞緩和を図る。	主たる内容	道路新設改良 東陽町 延長 L=125m 幅員 W=8.5m					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	道路利用者	事業期間	平成26年度 ~ 平成29年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		_____		_____		調査測量設計業務委託 用地測量 1式		用地取得面積 233㎡ 物件移転補償 1件	
成果		地権者への事業説明、用地測量を実施した。							
課題		一部用地境界確定ができなかった。							
指標名称（単位）					実績値		目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度
活動指標	道路用地の用地取得率（％）				—	—	—	29.9	100
活動指標	道路整備率（％）				—	—	—	—	100
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	2,452	0	合計		2,452,237 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		2,452,237 円
		一般財源	0	0	2,452	0			
	職員人件費 ②		0	0	1,197	5,764			
	総事業費（①+②）		0	0	3,649	5,764			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		57,576		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		2,452							
28年度以降の事業費見込		55,124							

会計名			市道2-402号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	周辺の土地利用計画、県道整備に伴う地域の安全対策を図る事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	県道交差点部を県事業と整合を図り進めていく事で手戻りのない工事が可能である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にする目的であり、公共性が高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	地域の利便性が向上すると共に、安全で円滑な交通が確保できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
事業スケジュールとの整合を図るため、用地交渉を進めていく。					

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業				担当部	建設部			
一般会計							担当課	道路建設課			
款	項	目					担当係	事業推進係			
8	2	3									
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境								
		基本施策	道路・交通								
		施策の内容	歩道・自転車道の整備								
	目的	伝統的な祭りである万燈まつり等、歴史・文化に配慮し、既存道路の幅員による歩車分離・電線類の地中化を行うことで、歩行者・自動車等、道路交通の安全性の確保、生活基盤及び地域の住環境の向上を図る。	主たる内容	道路新設改良 銀座ほか 延長 L=360m 幅員 W=17.5m~11.0m 車道幅員 7.0m 歩道幅員 4.0m 電線類地中化							
	位置づけ	関連計画	中心市街地活性化基本計画、無電柱化推進計画								
		根拠法令	道路法								
		対象者	道路利用者	事業期間	平成15年度 ~ 平成30年度						
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画			
		用地取得面積	523㎡	(H24繰越分)	用地取得面積	65㎡	用地取得面積	82㎡	(H26繰越分)	用地取得面積	70㎡
物件移転補償		8件	物件移転補償	1件	物件移転補償	6件	物件移転補償	8件	物件移転補償	8件	
道路予備設計（南側）		1件	(H25契約分)	用地測量	1式	道路新設改良	130m	(H27契約分)	用地取得面積	224㎡	
			道路詳細設計	1式				物件移転補償	3件	道路新設改良	160m
成果		取得が必要な道路用地のうち、これまで約79%を取得し、道路整備を計画どおり着実に実施できた。									
課題		_____									
指標名称（単位）					実績値		目標値				
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（%）				73.9	76.1	79.0	86.8	100	
活動指標	道路整備率（%）				—	—	18.1	40.3	81.9		
他市との比較検証	_____										
C 事業コスト V	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳				
	事業費 ①		187,600	44,682	166,578	216,212	合計	166,577,571 円			
	財源	特定財源	0	0	15,105	47	需用費	7,700 円			
		一般財源	187,600	44,682	151,473	216,165	委託料	19,739,795 円			
	職員人件費 ②		8,772	3,647	12,812	16,394	工事請負費	52,990,200 円			
	総事業費（①+②）		196,372	48,329	179,390	232,606	公有財産購入費	8,107,710 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		2,208,066		26年度特定財源名称					
26年度までの累積事業費		1,354,888		市町村土木事業費補助金（県）							
28年度以降の事業費見込		636,966		電線共同溝建設負担金							

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	道路を拡幅し、歩道設置、電線類の地中化を行うことにより、交通安全の確保、市民生活の利便性が向上する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	道路整備に合わせて、電線類の地中化を図るため、効率的に事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	中心市街地の活性化・地域生活基盤の向上が図られる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も計画通りに用地取得、道路整備を進めていくと共に、銀座A地区で予定されている開発事業との整合を図っていく。					

会計名 一般会計			市道3-182号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	拡幅と新設による道路を整備することで、 狭幅道路の利便性を確保する。		主たる内容	道路新設改良 野田町 延長 L=307m 幅員 W=6.0m				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	道路法					
		対象者	道路利用者		事業期間	平成17年度 ~ 平成26年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		用地取得面積	131㎡	(H24繰越分)		(H25繰越分)		—	
物件移転補償		3件	用地取得面積	54㎡	用地取得面積	89㎡			
			物件移転補償	1件	物件移転補償	2件			
			(H25契約分)		(H26契約分)				
			用地取得面積	134㎡	道路新設改良	62m			
			物件移転補償	2件					
			道路新設改良	50m					
成果		平成17年度から着手した事業を完了し、目的を達成することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標	道路用地の面積取得率（%）			88.3	100.0	—	—	—	
成果指標	道路整備率（%）			66.8	79.8	100.0	—	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		18,204	17,758	10,723	0	合計 10,723,401 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 210,686 円		
		一般財源	18,204	17,758	10,723	0	工事請負費 7,884,000 円		
	職員人件費 ②		6,862	9,959	3,801	0	公有財産購入費 2,159,671 円		
	総事業費（①+②）		25,066	27,717	14,524	0	補償、補填及び賠償金 469,044 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		207,607		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		204,875					
28年度以降の事業費見込		2,732							

会計名			市道3-182号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	狭幅道路の拡幅であり、市民生活上、防災上も必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	東側から順次、用地購入、工事を進めていくため、事業効果が早く確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にすると共に、防災上の観点からも公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	年度ごとに区間を定め、施工していくため、利便性の向上が早期に確認できる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成26年度事業完了。					

会計名 一般会計			市道3-629号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	3					担当係	道路整備第2係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	拡幅と新設による道路を整備することで、 狭幅道路の利便性を確保する。		主たる内容	道路新設改良 小垣江町 延長 L=530m 幅員 W=6.0m					
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	道路利用者		事業期間	平成12年度～平成27年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
				用地取得面積 144㎡ 物件移転補償 4件	(H25繰越分) 用地取得面積 144㎡ 物件移転補償 4件 (H26契約分) 道路新設改良 56m		(H26繰越分) 道路新設改良 56m			
成果		物件移転が完了し、工事に着手することができた。								
課題		物件移転に時間を要したため、年度内に工事を完了することができなかった。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
活動指標	道路用地の面積取得率（％）		93.6	100.0	—	—	—			
成果指標	道路整備率（％）		89.4	89.4	89.4	100.0	—			
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費①		0	32,643	15,327	0	合計	15,327,395円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	400円		
		一般財源	0	32,643	15,327	0	委託料	290,768円		
	職員人件費②		0	9,258	5,209	1,273	工事請負費	1,134,000円		
	総事業費（①+②）		0	41,901	20,536	1,273	公有財産購入費	3,100,820円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		517,877		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		506,511								
28年度以降の事業費見込		11,366								
						補償、補填及び賠償金	10,801,407円			

会計名			市道3-629号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	狭隘道路の拡幅であり、市民生活上、防災上にも必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	北側から順次、用地取得、道路工事を進めており、事業の効果が早く確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にすると共に、防災上の観点からも公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	年度毎に区間を定め施工していくため、利便性等の向上が早期に確認できる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成27年度事業完了予定。					

会計名 一般会計			橋りょう補強事業				担当部	建設部		
款	項	目					担当課	道路建設課		
8	2	4					担当係	道路整備第1係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	防災							
		施策の内容	災害に強いまちづくり							
	目的	緊急輸送道路及び生活道路に架かる橋りょうの耐震化を促進し、地震発生後の道路機能を確保することで、避難する市民の安全性を高める。			主たる内容	○橋りょうの耐震化 対象橋りょう数 29橋				
	位置づけ	関連計画 地域防災計画、地震対策アクションプラン								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民等		事業期間	平成24年度～平成36年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		橋りょう耐震化計画策定・避難道路選定基準の検討		橋りょう耐震化計画策定 ・避難道路（案）の設定 ・地区代表とのワークショップ ・耐震化する橋りょうの選定		橋りょう耐震補強実施設計 6橋 橋りょう耐震補強工事 2橋		(H26繰越分) 橋りょう耐震補強工事 2橋 (H27契約分) 橋りょう耐震補強実施設計 6橋 橋りょう耐震補強工事 2橋		
成果		耐震補強実施設計を行い、補強工事の内容を決定することができた。								
課題		橋りょう耐震化計画にもとづき、今後橋りょう補強について関係機関との調整が必要。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
成果指標		緊急輸送道路内の橋りょう耐震化率（％）				88.9	88.9	94.4	94.4	94.4
成果指標		避難道路内の橋りょうの耐震化率（％）				—	—	—	13.8	55.2
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		8,169	40,650	57,418	17,330	合計	57,418,320円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	10,818,360円		
		一般財源	8,169	40,650	57,418	17,330	工事請負費	46,599,960円		
	職員人件費②		2,971	2,595	2,745	3,294				
	総事業費（①+②）		11,140	43,245	60,163	20,624				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		258,126		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		106,237								
28年度以降の事業費見込		134,559								

会計名			橋りょう補強事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	発災後、地域住民が避難所まで安全に移動できるように、避難道路内にある市が管理する橋りょうの耐震化を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	橋りょうの耐震化計画と長寿命化計画を調整することで、コストの縮減を図り、効率的に事業を進めることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市地域防災計画で、市の責務として「被災者等が迅速かつ安全に避難できるよう、通行確保に努める」としている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	災害に強いまちづくりを行うためには、避難道路に架かる橋りょうの耐震化が必要である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
関係課と調整しながら、選定された29橋の耐震補強工事を順次実施し、避難道路の機能確保に努める。					

会計名			横断歩道橋新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第1係		
8	2	4								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	幹線道路を横断する歩行者を、自動車交通と立体交差させ、交通の安全を確保する。			主たる内容	横断歩道橋新設改良 1基				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令	道路法、道路構造令							
	対象者	道路利用者	事業期間	平成25年度 ~ 平成27年度						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
				横断歩道橋実施設計 重原横断歩道橋 1基		重原横断歩道橋（下部工）1式 重原横断歩道橋（上部工）1式		（H26繰越分） 重原横断歩道橋（下部工）1式 重原横断歩道橋（上部工）1式		
成果		横断歩道橋の形状等について、地元調整を行い工事に着手することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
成果指標		横断歩道橋新設改良（基）			-	-	-	1	-	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	9,480	33,350	0	合計	33,350,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	33,350,000 円		
		一般財源	0	9,480	33,350	0				
	職員人件費 ②		0	842	1,901	2,021				
	総事業費（①+②）		0	10,322	35,251	2,021				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		452,806		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		42,830								
28年度以降の事業費見込		409,976								

会計名			横断歩道橋新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	小中学校の通学路、幼稚園への通園路として利用されており、歩行者の安全性及び利便性の向上を図ることができる。また緊急輸送道路上に位置していることから、耐震化により、防災面での強化も図ることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	通学路を確保するため現在の歩道橋を残したままの施工となり、通常の施工と比較して、施工方法に工夫が必要となる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	老朽化している横断歩道橋の更新であり、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	耐震化を図ることで、緊急輸送道路の機能を確保することができる。また、新たに階段の勾配の緩和やスロープを設置することにより、歩道橋利用者の安全性及び利便性の向上を図ることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成27年度事業完了					

会計名 一般会計		都市計画道路3・4・551刈谷環状線電				担当部	建設部		
款 項 目 8 4 3		線類地中化事業				担当課	道路建設課		
						担当係	道路整備第1係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	歩道内の電柱及び電線を地中に埋設することで、安全で快適な歩行空間を確保し、市民が安心して歩けるまちづくりを進める。				主たる内容	街路新設改良 住吉町ほか 電線類地中化 バリアフリー化 延長 L=474m 幅員 W=15m		
	位置づけ	関連計画 都市計画マスタープラン、無電柱推進計画							
		根拠法令 道路法、道路構造令、電線共同溝整備等に関する特別措置法							
		対象者	市民等		事業期間	平成25年度～平成33年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		_____		_____		電線類地中化予備設計 L=474m 道路詳細設計 L=474m		電線類地中化詳細設計 L=474m	
成果		各電線管理者等との協議に必要な電線類地中化計画の案を作成することができた。							
課題		各電線管理者等との施工時期、施工方法等の調整が必要となる。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
成果指標	災害に強いまちと思う市民の割合（%）			—	—	55.9	60.0	64.0	
成果指標	街路整備率（%）			—	—	—	—	33.8	
他市との比較検証	_____								
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	7,236	8,000	合計	7,236,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	7,236,000円	
		一般財源	0	0	7,236	8,000			
	職員人件費②		0	0	1,901	2,021			
	総事業費（①+②）		0	0	9,137	10,021			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		646,078		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		7,236		_____					
28年度以降の事業費見込		630,842							

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・551刈谷環状線電 線類地中化事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備第1係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する上で必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	電線類地中化と同時に、歩道のバリアフリー化を実施することでコストの縮減を図り、効率的に事業を進めることができる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良事業であるため、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで、良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成28年度より、道路新設改良工事（電線類地中化工事含む）実施予定。						

会計名		市道01-25号線他電線類地中化事業				担当部	建設部			
一般会計						担当課	道路建設課			
款	項					目	担当係	道路整備第1係		
8	4					3				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	歩道・自転車道の整備							
	目的	歩道内の電線類を地中化することで、安全で快適な歩行空間を確保し、市民が安心して歩けるまちづくりを進める。 また、道路内の電線類を地中化することで緊急輸送道路としての機能を確保する。	主たる内容	○道路新設改良 大手町ほか ○電線類地中化 延長 L=533m 幅員 W=20m(両側歩道 W=3.5m)						
	位置づけ	関連計画		都市計画マスタープラン、無電柱化推進計画						
		根拠法令		道路法、電線共同溝の整備に関する特別措置法						
		対象者	市民等	事業期間	平成20年度～平成29年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		道路新設改良 110m (電線類地中化を含む)		道路新設改良 138m (電線類地中化を含む)		道路新設改良 136m (電線類地中化を含む)		(H26繰越分) 道路新設改良 136m (電線類地中化を含む) (H27契約分) 道路新設改良 137m (電線類地中化を含む)		
成果		電線類の地中化及び歩道のバリアフリー化工事を行い、緊急輸送道路の機能確保及び安全で快適な歩行空間を整備することができた。								
課題		_____								
指標名称(単位)			実績値			目標値				
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
活動指標	道路整備率(%)		39.8	67.2	67.2	92.8	100			
成果指標	災害に強いまちと思う市民の割合(%)		50.4	—	55.9	60.0	64.0			
他市との比較検証	_____									
C 事業コスト	単位：千円		24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	26年度事業費内訳			
	事業費①		59,219	90,501	57,852	205,658	合計	57,851,587円		
	財源	特定財源	27,170	37,000	1,149	14,169	委託料	16,025,040円		
		一般財源	32,049	53,501	56,703	191,489	工事請負費	27,257,920円		
	職員人件費②		4,032	1,543	5,209	5,914	補償、補填及び賠償金	14,568,627円		
	総事業費(①+②)		63,251	92,044	63,061	211,572				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		684,941		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		164,881		電線共同溝建設負担金						
28年度以降の事業費見込		314,402								

会計名			市道01-25号線他電線類地中化事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	4	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保するうえで必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	電線類地中化と同時に、歩道のバリアフリー化も実施することで、コストの縮減を図り、効率的に事業を進めることができる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	道路の改良整備であり、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	電線類地中化を行うことで、良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。	
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	県事業と事業調整を図りながら、事業を推進する。				

会計名			駐輪場整備事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	4	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	駐車場・駐輪場の整備							
	目的	自転車利用者の利便性の向上と違法駐輪を無くし、交通の安全と環境美化を図る。			主たる内容		駐輪場の計画的整備			
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、刈谷駅周辺駐輪場整備基本計画							
		根拠法令	建築基準法、刈谷市自転車等の放置防止に関する条例							
	対象者	駅利用目的の駐輪場利用者			事業期間	平成6年度 ~ 平成27年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		(H23線越分) 駐輪場詳細設計 1式 (一ツ木駅南口駐輪場、野田新町駅南口駐輪場)		駐輪場詳細設計 1式 (富士松駅南口駐輪場、一ツ木駅南口第3駐輪場)		野田新町駅南口駐輪場設置 1式		刈谷駅南口第4駐輪場設置 1式		
一ツ木駅南口駐輪場設置 1式 (増設)		富士松駅南口駐輪場設置 1式 一ツ木駅南口第3駐輪場設置 1式								
成果		野田新町駅南口駐輪場を整備することで駐輪場需要に対応し、利便性の向上を図るとともに違法駐輪を排除することができた。								
課題		野田新町駅南口駐輪場は、今後の需要に応じて2段ラック整備し、台数を確保する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
成果指標		駐輪場設置箇所（箇所）			1	2	1	1	—	
成果指標		自転車収容台数合計（台）			6,862	7,131	7,508	8,325	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費 ①		17,877	23,752	31,533	70,234	合計	31,532,960 円		
	財源	特定財源	0	0	8,500	0	役員費	119,000 円		
		一般財源	17,877	23,752	23,033	70,234	工事請負費	31,413,960 円		
	職員人件費 ②		1,203	2,946	3,309	2,395				
	総事業費（①+②）		19,080	26,698	34,842	72,629				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		1,013,932		26年度特定財源名称				
		26年度までの累積事業費		939,408		市町村土木事業費補助金（県）				
28年度以降の事業費見込		4,290								

会計名			駐輪場整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	4	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	自転車利用者の利便性の向上、違法駐輪の削減のために必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	計画的に事業用地の確保、駐輪場の設置を行っており、効果の確認ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	駅利用者等、駐輪場利用者のための事業であり、公共性が高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	駐輪場の新設・増設により、駐輪場が利用しやすくなるとともに、違法駐輪の減少と環境美化に繋がる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成27年度事業完了予定。					

会計名			道路用地等管理事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	取得済み道路用地等の草刈り、砕石敷均し等を行い安全面等の維持管理を図る。			主たる内容	取得した用地を整備実施するまでの期間、定期的に草刈を行う。また、必要に応じ安全面を考慮して砕石の敷均しを行う。				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者					事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）		道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）		道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）		道路事業用地管理（除草、砕石敷均し、舗装補修）				
成果		道路用地として取得した土地の維持管理が適切に行われている。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		819	4,289	1,709	3,291	合計	1,708,560 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,063,800 円		
		一般財源	819	4,289	1,709	3,291	工事請負費	644,760 円		
	職員人件費 ②		141	491	1,549	1,273				
	総事業費（①+②）		960	4,780	3,258	4,564				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
		26年度までの累積事業費		0						
28年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			市道01-28号線道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	道路拡幅により南部地域の円滑な通行形態の確保をする。	主たる内容	狭隘な道路の一部区間について、明治用水の水路改修に合わせ拡幅する。 道路新設改良 半城土町 延長 L=162m 幅員 W=7.0m					
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	道路法					
		対象者	道路利用者	事業期間	平成25年度 ~ 平成26年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
				明治用水改修工事負担金 1式		道路新設改良 162m			
成果		相互交通が可能となり、スムーズな交通流を確保することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
成果指標		道路整備率（%）			-	-	100	-	-
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	6,508	10,155	0	合計	10,155,240 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	10,155,240 円	
		一般財源	0	6,508	10,155	0			
	職員人件費 ②		0	1,192	2,253	0			
	総事業費（①+②）		0	7,700	12,408	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		18,231		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		16,663							
28年度以降の事業費見込		1,568							

会計名			道路調査事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	地区要望等による新規道路計画の検討・調査を行うと共に、各事業の計画・中間・完了段階に交通量調査等を行い、計画の基礎資料収集・事業の効果確認を行う。	主たる内容	・交通量調査業務委託 交差点交通量調査 12箇所 歩道橋交通量調査 3箇所 調査箇所 市内全域 ・市道02-19号線測量設計業務委託 道路詳細設計 L=0.07km 路線測量 L=0.07km 現地測量 L=3,200㎡ 委託箇所 重原本町他 ・環状交差点導入検討業務委託 委託箇所 市内全域						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令		道路法						
		対象者	道路利用者	事業期間	平成25年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
				市道02-5号線他 道路予備設計 L=907m 路線測量 L=907m 平板測量 A=0.04km 市道2-402号線他 道路予備設計 L=117m 路線測量 L=118m 平板測量 A=0.006km		交通量調査業務委託 交差点交通量調査 12箇所 歩道橋交通量調査 3箇所 市道02-19号線他 道路設計 L=0.07km 平板測量 A=3,200㎡ 環状交差点導入検討業務委託		交通量調査業務委託 交差点交通量調査 5箇所 用地測量業務委託 市道01-29号線 L=250m 歩道施設点検業務委託 歩道施設点検 1式		
成果		各種検討の基礎資料となる交通量調査を実施することができた。また、地区と調整を図りながら道路設計を進めることができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
指標										—
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		0	9,125	10,093	11,000	合計	10,092,600円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	10,092,600円		
		一般財源	0	9,125	10,093	11,000				
	職員人件費②		0	2,244	3,661	3,144				
	総事業費（①+②）		0	11,369	13,754	14,144				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道1-96号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	井ヶ谷町中前田周辺の主要な生活道路の幅員が狭く、通行に支障をきたしており、緊急車両の通行にも支障があるため、道路を拡幅整備する。	主たる内容	道路新設改良 井ヶ谷町 延長 L=270m 幅員 W=6.0m 交差点部分から枝道までの狭小幅員解消 上流からの雨水排水の処理						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	道路利用者	事業期間	平成15年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		道路新設改良	156m			用地取得面積	60㎡	道路新設改良	40m	
用地取得面積		51㎡			物件移転補償	1件				
物件移転補償		1件								
成果		生産緑地買取申出に合わせて事業用地を取得することができた。								
課題	用地境界立会い・用地交渉が難航している。									
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
活動指標	道路用地の面積取得率（％）				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
成果指標	道路整備率（％）				25.2	25.2	34.4	34.4	34.4	
	他市との比較検証				29.0	29.0	29.0	36.4	36.4	
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費①		23,927	0	6,944	0	合計	6,943,568円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	5,000円		
		一般財源	23,927	0	6,944	0	委託料	235,990円		
	職員人件費②		8,064	0	1,408	1,273	公有財産購入費	5,884,560円		
	総事業費（①+②）		31,991	0	8,352	1,273	補償、補填及び賠償金	818,018円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		90,127		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		80,867								
28年度以降の事業費見込		9,260								